



中学生に「マイ・タイムライン防災学習」を開催

全国各地で大きな自然災害が発生しています。昨年の台風19号では、本市においても荒川の水位が上昇し浸水被害が発生しました。いつ起こるか分からない自然災害に対し、市も国とともに堤防の整備や情報伝達システムの導入などを進めていますが、さらなる被害を防ぐには平時から準備や心構えをしておくことが大切です。

7月15日、上尾市防災士協議会による「マイ・タイムライン防災学習」が荒川の洪水浸水想定区域内にある大石南中学校で開催されましたので、私も参加いたしました。この防災学習は県内でも初めての取り組みです。

「マイ・タイムライン」とは、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、「いつ」「誰が」「何をするのか」、自分自身や家族がとるべき防災行動を時系列に整理し取りまとめたものです。

学習では、初めに自分の家と避難所を確認し、どのような水害のリスクが想定されるのかを市の洪水ハザードマップで調べます。次に、台風が発生してから川が氾濫するまでの備えや取るべき行動を具体的に記入します。台風情報や川の水位の確認、防災グッズの準備、避難場所や避難手段の確認などを記入していくことで自分だけのタイムラインが完成します。

生徒たちが真剣に説明を聞きながら取り組んでいる姿に頼もしさを感じました。「備えあれば憂いなし」マイ・タイムラインがあれば、いざという時に慌てずに避難行動をとることができます。「逃げ遅れゼロ」に向け、大切な家族のためにも準備をお願いします。



自らのこととして真剣に取り組んでいました

マイ・タイムラインのご案内

<http://www.city.ageo.lg.jp/page/1181070301.html>



マイ・タイムラインの
ご案内

市長 畠山 稔